

重複データのマージについて

Salesforce では、レコードの新規作成や編集時に「一致ルール」と「重複ルール」が稼働していれば、自動的に重複を検知することができます。

デフォルト設定（標準ルール）の確認手順

1. 設定画面を開く：画面右上の歯車マーク（）から「設定」を開きます。
2. クイック検索で「重複管理」と入力：クイック検索ボックスに「重複」と入力し、「重複管理」の下にある「一致ルール」および「重複ルール」をクリックします。
3. 標準ルールの有効化確認：取引先やリードなどに対して、Salesforce 標準の一致ルールや重複ルールが「有効」になっていることを確認します。

Standard Account Matching Rule (標準のアカウント照合ルール)	・ アカウント名 + 請求先住所 (Billing Street) ・ アカウント名 + 市区町村 (City) + 都道府県・州 (State) ・ アカウント名 + 郵便番号 (ZIP) ・ アカウント名 + 電話番号 (Phone) ・ ウェブサイト (Website) + 電話番号 (Phone) ・ ウェブサイト (Website) + 請求先住所 (Billing Street)
右のいずれかの一致で重複アカウントとして識別されます。	

重複レコードは、主に以下のいずれかで検出されます。

- レコード作成・編集時のアラート
新規作成や編集時に重複ルールが作動し、画面上に「類似のレコードが存在します」という警告ポップアップが表示されます。
- 「重複レコード」コンポーネント
レコード詳細ページ (Lightning ページ) に「重複レコード」コンポーネントが配置されている場合。

「重複レコード」コンポーネントの設置

レコード詳細画面で重複している可能性のあるデータを視覚的に確認・マージできるようにするため、Lightning ページに「重複レコード」コンポーネントを配置します。

- ① 対象レコードの画面で Lightning ページ編集を開く
取引先などの詳細画面を開き、右上の歯車マーク（）から「編集ページ」をクリックします。
(Lightning アプリケーションビルダーが開きます)
- ② コンポーネントのドラッグ&ドロップ
左側のコンポーネント一覧から「重複レコード」を探し、画面の右側や好みのタブ内へドラッグ&ドロップで配置します。
- ③ 保存と有効化
右上の「保存」をクリックします (初回保存時や変更時に「有効化」のポップアップが出た場合は、組織のデフォルト等として割り当てを完了させてください)。「戻る」ボタンで通常の画面に戻ります。

重複検出時のマージ操作手順

1. マージ画面の起動
 - 【アラートから】
保存時に「類似のレコードが存在します」と警告が出た場合は、そこに表示されるリンクやボタンをクリックします。
 - 【コンポーネントから】
レコード詳細画面に、重複するレコードが存在するアラートが表示されるので、マージ画面を開きます。
2. マスター（残す）レコードの選択
統合後に「主（マスター）レコード」として残すレコードを1つ選択します。
3. 保持する項目の選択
各項目について、どちらのレコードの値を保持するかを選択・調整します。
4. マージの実行
内容を確認し、「マージ」ボタンをクリックして実行を確定させます。

独自の一致ルール・重複ルールの設定手順

標準のルールだけでなく、業務固有の項目（例：「証券番号」の一致など）で重複を検知させるためのカスタムルールの作成手順です。ルール作成は「一致ルールの作成」→「有効化」→「重複ルールの作成」の順番で行います。

【ステップ1】一致ルールの作成（例：証券番号の一致）

- ① 画面右上の歯車マーク（）から「設定」を開きます。
- ② クイック検索に「一致ルール」と入力し、[重複管理] > [一致ルール] をクリックします。
- ③ 「新規一致ルール」ボタンをクリックします。
- ④ 対象となるオブジェクトを選択し、「次へ」をクリックします。
- ⑤ ルールの詳細設定
 - ・ルール名：任意の分かりやすい名称を入力します
（例：証券番号一致ルール）
 - ・対応付け：一致を判定する基準となる項目を選択します
（例：項目を「証券番号」にし、一致条件を「正確な一致」に設定）
- ⑥ 「保存」をクリックした後、ルールの一覧画面に戻ったら必ず「有効化」ボタンをクリックします
（※有効化しないと重複ルールから選択できません）。

【ステップ2】重複ルールの作成（検出時の動作設定）

- ① クイック検索に「重複ルール」と入力し、[重複管理] > [重複ルール] をクリックします。
- ② 「新規重複ルール」ボタンをクリックし、対象オブジェクトを選択します。
- ③ ルールの設定内容入力
 - ・ルール名：任意の名称を入力します（例：証券番号重複チェック）
 - ・アクション：レコード作成時／編集時にどう動作させるか設定します
（例：「作成時：レポートを表示」「編集時：レポートを表示」、必要に応じて「組織外への共有」や「転送」でのブロック設定も可能）
 - ・一致ルール：ステップ1で作成した一致ルール（例：証券番号一致ルール）を紐付けます。
- ④ 内容を確認して「保存」し、ステータスが「有効」になっていることを確認します。

注意事項

削除されたレコードの扱い：マージによって統合・削除された従レコードはごみ箱に移動するため、万が一の場合も一定期間内なら復元が可能です。

関連データの引き継ぎ：商談や活動履歴などは原則としてマスターレコードに自動的に引き継がれます。

権限について：マージを行うには対象オブジェクトの「削除」権限が必要です。

参考ヘルプページ

Salesforce 公式の詳しいヘルプドキュメントもあわせてご参照ください。

重複ルール（Salesforce 公式ヘルプ）：

https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sales.duplicate_rules_map_of_reference.htm

重複ルールのカスタマイズ（Salesforce 公式ヘルプ）：

https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sales.duplicate_rules_create.htm

一致ルール（Salesforce 公式ヘルプ）：

https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sales.matching_rules_overview.htm